



令和 6 年 5 月 22 日
午前 午後 10 時 15 分 受領
No. 1

議長	事務局長	係

令和 6 年 5 月 22 日

愛南町議会議長 佐々木 史仁 殿

愛南町議会議員 嘉喜山 茂

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問の要旨	答弁を求める者
<p>1 人口減少と財政の見通し等</p> <p>人口動態統計によると、2023 年の出生数は前年比で 5.1%減少し、過去最少となっており、人口戦略会議は、全国 744 市町村で 2020 年から 50 年にかけて若年女性人口が半数以下となり、消滅する可能性がある」と公表した。</p> <p>愛南町も消滅可能性がある」とされ、人口減少対策は急務となっている。</p> <p>愛南町の 24 年度予算では、子どもを安心して産み、子育てができる環境へ取り組んでいくことが示されているが、愛南町の財政は、交付税など国・県の依存財源に頼った部分が大きく、人口の急速な減少、社会保障費の増大などを考慮すると、今の段階から将来を見据えた取組が必要と思うので質問する。</p> <p>① 人口減少を抑制するためには所得向上策なども必要と考えるが、地域経済の活性化にどう取り組んでいくのか。</p> <p>② 福祉や防災面からも集住などの取組も必要と考えるが、集落の現状・対策等について伺う。</p> <p>③ 人口減少対策や地域の持続性を高めるためには、行政コストを下げることも必要と考えるが、財政の見通し・健全化策について伺う。</p>	町長

2 イベント等による地域の活性化

町長

地域活性化とは、活気あるまちづくりをおこない、それを維持・発展させることであり、地域活性化のためには自律的で持続可能な社会を創ることが必要と考える。

愛南町においても、地域の特性を活かして自律的で持続可能な社会を創るため、物産販売やスポーツ観光などのイベントがおこなわれており、22年度からは観光振興等イベント補助金などによる民間主導の活性化事業もおこなわれている。

イベントをおこなう上では職員の協力も必要だが、近年は若手職員の離職の多さやなり手不足なども指摘されており、職員の負担を軽減する効率的な運営に努める必要があり、今後はイベントの在り方や運営方法なども検討すべきではないかと考えるので質問する。

- ① 愛南町が実施しているイベント等について、検証結果と効果、今後の方針について伺う。
- ② 愛南町観光振興等イベント補助金による事業の検証結果と効果、今後の方針について伺う。
- ③ イベント時における職員の負担軽減など運営の効率化についてどう考えているのか。
- ④ 関係交流人口の増加にどう取り組んでいくのか。
- ⑤ 地域活性化のためのイベントに対する取組方針について伺う。